

教科	自立活動	単元名	学習計画の立案
----	------	-----	---------

## 本時のねらい

・スケジュールアプリ（フォーサイト）を使用し、夏休みの計画を立てることで、1 学期を振り返り、自分の勉強や生活を見直し、自己調整する力を育てる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・スケジュールアプリ（フォーサイト）を使用し、個別に自分の学習内容を振り返り、端末上で直接入力、編集することで、自己評価を行い、自己改善の意識を高めることができる。
- ・夏休みの予定という具体的な計画を立てることで、視覚的に分かりやすく、自分の予定を管理しやすくなり、計画について容易に試行錯誤ができる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型モニター ・フォーサイト ・漢字マスター（漢字学習アプリ） ・ロイロノート

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあて【1 学期を振り返り、夏休みの計画をしよう】を確認する。</li> <li>・漢字マスターを使用して、漢字の復習と習得を行う。【写真 1】</li> <li>・コグトレ(認知機能強化トレーニング)をロイロノートで行う。</li> <li>・フォーサイトを使用して夏休みの計画を立てる。</li> <li>・アプリの基本機能と使用する機能について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字マスターは生徒が解答した問題に対して、即座にフィードバックが得られるため、理解の定着が早まる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 学期の振り返りをフォーサイトで行う。(5分) (学習面では成績や課題の達成状況、勉強方法の工夫など。生活面では生活リズム、友人関係、クラブ活動など。)</li> <li>・計画を立てる際のポイント(目標設定、優先順位の整理、時間配分の調整、定期的な見直しと修正を行うこと)を聞く。</li> <li>・フォーサイトで夏休みの計画を立てる(20分)【写真 2】</li> <li>・目標、宿題ややることのチェックリスト、予定を入力する。</li> <li>・1 学期の振り返りと夏休みの計画を発表する。(10分)【写真 3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーサイトのカレンダー機能を活用することで、予定の有無だけでなく、具体的な時間軸で予定を視覚化することができる。日々の予定や週間計画を視覚的に確認できるため、時間管理がしやすくなり、一目で予定の把握が可能になる。</li> <li>・学習内容や重要な予定を記録し、いつでも確認できるようにする。</li> <li>・学習内容や目標を箇条書きで整理し、優先順位をつけることでやることを効率的に管理できる。</li> <li>・チェックリスト機能を活用することで、進捗状況を可視化し、達成感を得られるようにする。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の振り返り(5分)</li> <li>・「今日の授業で一番印象に残ったこと」「夏休みの計画を立てる際に難しかったこと」を中心に振り返りを行い、学んだことを確認する。</li> </ul>	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】漢字マスターに取り組んでいる様子



【写真 2】生徒が立てたフォーサイトの画面



【写真 3】1 学期の振り返りと夏休みの計画を発表する様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・フォーサイトを使った 1 学期の振り返りや夏休みの計画を立てることを通じて、自分の強みと弱みを把握し、具体的な計画を立てる姿が見られた。
- ・カレンダー機能やチェックリスト機能の活用、グループ発表を通じて、ICT ツールの有効な活用方法を学び、自分の考えを他人に伝える力や他人の意見を聞いてフィードバックにいかす力が付いた。
- ・自分の取り組みや努力について発表し、他の生徒や教員からのフィードバックを受けることで、自己肯定感が高まった。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・毎回の授業の始めに漢字マスターやロイロノートでのコグトレを活用し、進捗管理とリアルタイムのフィードバックを行うことで、生徒の理解を深め、学習意欲を高めることができる。
- ・フォーサイトを使った振り返りは、生徒が自分の学習や生活を客観的に評価し、具体的な改善点を見つけることができる。丁寧にサポートすることで、生徒の主体性と成長を促すことができる。